

かづまる通信

支援の心掛け「まみむめも」

- Ⓜ 待つだけではなく
- Ⓜ 見守り，寄り添って考える
- Ⓜ 無理をさせないように
- Ⓜ 目を行き届かせる
- Ⓜ もう大丈夫…からが支援

【子供たちに自己決定の機会を】

長いと思っていた2学期も残すところあとわずか。まとめの時期に入りました。冷え込みも厳しくなってきたため，児童には忙しさの中で体調管理がおろそかにならないよう，声掛けをしています。また，先日はお忙しい中，家庭教育学級「聴くことで伝わるメッセージ」に参加していただき，ありがとうございました。「子供たちと過ごす時間を大事に，聴くことを大切にしたい。」など，多くの前向きな感想をいただきました。

さて，宮城県は「志教育」を展開しています。「志教育」とは，「小・中・高等学校の全時期を通じて，人や社会と関わる中で社会性や勤労観を養い，集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら，将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育（「みやぎの志教育プラン」より）」であり，本校でも推進しています。

親の目には子供は人間として未熟に映り，実際に失敗や間違いも多くしてしまうことでしょう。親が責任を取らなくてはいけない場面もあることで，親主導で物事を考えてしまうこともあるかもしれません。とは言っても，子供も1人の人間であり，子供の人生は子供だけのものです。命に関わるものや，取り返しのつかないもの場合は親の介入は絶対に必要です。しかし，失敗が成長の糧になるもの，やり直しがきくものなどの場合は，あえて子供に自己決定の機会を与え，もし失敗してしまったとしてもその努力を認め，励ましてあげることが大切です。失敗が次の挑戦につながるきっかけになればよいですね。

【12月のSC来校日】 1日（火） 8日（火） 15日（火） 22日（火）



親子の小窓



第9回テーマはMLA（マルチレベルアプローチ）における「協同学習」です。協同学習とは，ペアやグループの活動における感情，役割，思考の交流を通して良好な人間関係を築き学習意欲を向上させるための学習方法で，本校では校内研究の一環としても取り入れているものです。SELの授業で「気持ちの良い聞き方」等を学習させ，活動の際の指針にしています。国語や算数だけではなく，道徳や学級活動にも取り入れることで，互いの良さを感じながら，自分の考えを深めることができている。本校5年2組のアンケートからは，協同学習を通して大きな自信につながることが分かります。

① 学校では今，話し合いや教え合いを大切に授業に取り組んでいます。このような授業について，どう思いますか。当てはまるものに丸をつけてください。（調査対象30名）

	よい	ややよい	どちらでもない	ややわるい	わるい
1学期	8	10	11	0	1
2学期	16	10	3	1	0

② ①で回答した理由を教えてください。（一部抜粋）

- 大人になってからでも役に立つから。
- みんなのよさに気付くことができるから。
- 話し合いをすることで，友達と協力しようと思う気持ちが深まるから。
- 話し合いや教え合いをするといろいろな意見を知ることができるから。
- 話し合いや教え合いなどをすると，分からないことが分かるようになるから。
- 話し合い活動をすると，友達との仲が良くなるから。

心も体も元気な子供を育成するために家族みんなで **はやね・はやおき・あさごはん** を実践しよう!!